

平成22年東京都内建設工事死亡災害事例

建設業労働災害防止協会東京支部

No.	発生日	業種	職種	年齢	経験	発生状況	事故の型	起因物
1	1/8	建築工事業	解体工	30歳代	8年	解体等工事に伴い、トラクションロープ式エレベーター（750kg）を1Fレベルで解体作業中、カウンターウェイトが落下し、かご上で作業を行っていた被災者ほか1名がはさまれた。	飛来、落下	エレベータ、リフト
2	1/23	その他の建設業	設備機械工	40歳代	18年	同一シャフトに3機並列しているエレベーターのうちの1機のピット内コントローラー配線工事を被災者1人で行っていたが、作業しているエレベーターの2つ隣りに設置しているエレベーターのカウンターウェイト側の梁上にうずくまるように倒れているのを同僚に発見された。	はさまれ、巻き込まれ	エレベータ、リフト
3	1/28	土木工事業	船長	60歳代	50年	係留中の台船（海上で工事を行う際、工事資材を仮置きするためのはしけ）に設置されていたコンテナ（物置として使用）をクレーンを使用して吊り上げ、設置位置を変更する作業が予定されていた。被災者は、コンテナに立てかけた移動はしごを使ってコンテナ上に移動し、玉掛けの準備作業を行った後、同移動はしごにて台船上に降りていたところ、はしごから転落した。	墜落、転落	はしご等
4	2/4	その他の建設業	電工	30歳代	2年	工事に使用する材料を、ワゴン車から建物内に積み下ろす作業を行っていたところにダンプトラックが突っ込んだため、ワゴン車と建物の壁にはさまれた。一緒に作業していた同僚は、ワゴン車の車体の一部が体にあたり死亡した。	激突され	トラック
5	2/4	その他の建設業	現場職員	30歳代	23年	工事に使用する材料を、ワゴン車から建物内に積み下ろす作業を行っていたところにダンプトラックが突っ込み、飛散したワゴン車の車体の一部が体にあたった。一緒に作業していた同僚は、ワゴン車と建物の壁にはさまれ死亡した。	激突され	トラック
6	2/23	土木工事業	土工	50歳代	25年	公園造成に伴うフェンス整備工事において、掘削で出たガラを取り除くためにドラグショベルを運転して掘削端部側を移動中、掘削端部の地山が崩れドラグショベルが掘削部に転倒し、運転席から約1.7m下の掘削底に墜落した。	墜落、転落	掘削用機械
7	3/20	その他の建設業	電工	20歳代	2年	電線撤去工事作業において、電柱に上って作業をしていたところ、電線の切断直後に、上っていた電柱（木製）が根元から折れ、頂部付近で胴鋼を着けて作業していた被災者が、電柱とともに倒れた。	墜落、転落	送配電線等
8	4/1	建築工事業	とび工	50歳代	29年	ビルの屋上に設置してある広告塔撤去工事において、被災者が、養生の補強作業のため、広告塔の周囲に設置した丸太足場の養生シートの外側に出ていたところ、バランスを崩し、9.9m下に墜落した。当時、風が強かった。	墜落、転落	その他の仮設物、建築物、構築物等
9	5/2	建築工事業	とび工	30歳代	1年	被災者ほか2名は、看板の補修工事を行うため、単管抱き足場上で作業していた。被災者は塗装作業を行い、作業員Bはその上方で同じく塗装作業を行い、作業員Aはさらにその上方でアーク溶接作業を行っていた。その溶接の火花が下方で作業していた作業員Bの持っていた塗料の缶に入ると燃え上がり、さらにその火がその下方で作業していた被災者の作業服に燃え移った。そのため被災者はバランスを崩し、地上まで3.91m墜落した。	火災	アーク溶接装置

No.	発生日	業種	職種	年齢	経験	発生状況	事故の型	起因物
10	5/21	建築工事業	とび工	20歳代	2年	マンション修繕工事現場で枠組足場の解体作業中、足場上で解体した部材をつり綱を用いて地上に降ろす作業を行っていた労働者が、同足場から地上へ墜落した。作業の性質上、被災者が墜落した場所付近の足場には手すりも筋交いも設置されていなかった。	墜落、転落	足場
11	5/28	建築工事業	解体工	50歳代	20年	木造家屋解体工事現場において、単管とクランプで飛散防止養生柵を組立て作業中、2層目にいた被災者はバランスを崩し、単管を持ったままコンクリート土間へ約4m墜落した。	墜落、転落	その他の仮設物、建築物、構築物等
12	5/30	建築工事業	板金工	50歳代	17年	工場のスレート屋根の葺き替え作業を行っていたところ、スレート屋根を踏み抜いて、高さ8.4mから墜落した。	墜落、転落	屋根、はり、もや、けた、合掌
13	6/4	土木工事業	造園工	50歳代	7年	公園設備の工事において、トラックの荷台からローラーを降ろすため鋼製の道板を設置し、被災者はローラーの進行方向側で降ろす作業をしていたところ、道板上にて体勢を崩して仰向けに転倒し、その上をローラーが通過して轢かれた。	はさまれ、巻き込まれ	締固め用機械
14	6/27	土木工事業	舗装工	60歳代	33年	道路の舗装・修繕工事において、工事が終了したので、被災者は4トンダンプトラックに舗装定規（角材）を積み込む作業をしていた。そのダンプの後方に、作業を終えた締固め用機械（コンバインドローラー、3.6トン）が、回送車の到着まで待機するため移動してきて、被災者に激突した。	激突され	締固め用機械
15	7/1	建築工事業	板金工	60歳代	52年	木造3階建ての住宅新築工事において、被災者は、一側（ひとかわ）足場上で屋根に雨樋を取り付ける作業をしていた際、地面まで墜落した。足場3層目から約6m墜落し、地面にあったブロックに頭部をぶつけたものと推定される。	墜落、転落	足場
16	7/6	土木工事業	土工	60歳代	40年	被災者は、つり上げ荷重4.9トンの移動式クレーンを運転して杭掘削準備作業を行っていたところ、運転席から身を乗り出した姿勢で中間杭に挟まれた。	はさまれ、巻き込まれ	移動式クレーン
17	7/29	建築工事業	とび工	40歳代	25年	SRC造7階建て建物の解体工事現場において、被災者が5階の梁下に設置されたサポートを取り外す作業を行っていたところ、天井に取り付けられていた空調用のダクトが突然落下し、被災者はその下敷きになった。ダクト内には、大量のコンクリートのがらが詰まっていた。	飛来、落下	その他の装置、設備
18	8/22	建築工事業	とび工	20歳代	8ヶ月	被災者は、わく組足場の組立て作業を行っていたが、足場の15段目に設けられた足場材等の荷上げ場所の作業床（高さ27.65m）から、そこに置かれていた足場板と共に墜落した。	墜落、転落	足場
19	9/16	土木工事業	とび工	40歳代	10年	橋梁補修工事において、橋梁下部のつり足場の組立作業中に、午後10時ころ、被災者が照明を移設するための作業に取りかかったところ、つり足場から川に墜落した。	墜落、転落	足場

No.	発生日	業種	職種	年齢	経験	発生状況	事故の型	起因物
20	10/26	土木工事業	建設業	60歳代	1年	上水道の浄水場の沈殿池（取水した水に含まれる泥やごみなどを凝集剤と呼ばれる薬品を加えて凝集させ、汚泥として沈殿させる池）の改良補修工事において、被災者は、沈殿池の上澄み液を取水する開渠内で、開渠へ取水する穴をふさぐボルトの締め付け作業を行っていたところ、近くに設置されていたスクレーパ（沈殿した汚泥を掻き寄せる機械）のローラー部分に挟まれた。	はさまれ、巻き込まれ	混合機、粉砕機
21	11/17	土木工事業	車両系建設機械運	60歳代	45年	被災者は、ドラグショベルを運転してそのドラグショベルをダンプカーに積載する作業を行っていた。ドラグショベルの荷重がダンプカーの荷台にかかった時に、ダンプカーが移動し、ドラグショベルが荷台から転落した。	墜落、転落	掘削用機械
22	11/18	建築工事業	型わく大工	60歳代	35年	鉄筋コンクリート造建物の建替え工事において、被災者は、内部に設けた枠組足場の3層目（高さ3.8m）で柱の型枠組立作業中に、墜落した。	墜落、転落	足場
23	11/27	土木工事業	とび工	30歳代	15年	被災者は、橋桁端部に設置された墜落防止用の手すりを延長する作業において、バイス・クランプで固定された手すりとは橋桁とに足をかけた状態で長さ2mの単管パイプを他の作業員から受け取ったところ、足をかけていた手すりが外れ、手すりとともに、地上高さ7mの位置から墜落した。安全帯は、この外れた手すりに取り付けられていた。	墜落、転落	建築物、構築物
24	12/14	建築工事業	解体工	50歳代	2年	新築工事に伴う既存の鉄骨平屋建て倉庫の解体作業において、被災者は、屋根に親綱ロープを取り付ける作業中、その屋根の波板スレートを踏み抜き、高さ約5.6mから倉庫内のコンクリート床面に墜落した。	墜落、転落	屋根、はり、もや、けた、合掌
25	12/29	建築工事業	作業員・技能者	40歳代	25年	建築工事現場において、ラフタークレーン（移動式クレーン、つり上げ荷重25t）を用いてパネル（35枚、1t）を荷上げ中、地上から約11mつり上げたところで、玉掛け用ワイヤロープのフックに掛けられたナイロン製スリングのアイ部分がフックから外れ、トラックの荷台上で玉掛け作業のために手待ちしていた被災者の上にパネルが落下し、頭部に当たった。	飛来、落下	荷姿の物